建設水道常任委員会

物価高騰に伴い経費を増額（令和5年12月定例会）

議案　水道事業会計補正予算

並木町配水場改修事業における継続費の補正について、近年の労務単価の上昇や資材価格の高騰などの影響により、令和6年度の年割額を増額します。

並木町配水場

議案　橋梁下部工事（西三里塚大清水線）2工区請負契約の変更

市道西三里塚大清水線の畑ケ田地先に新設する橋梁の下部構造となる橋台の設置に当たり、樹木の伐採後に地形等の調査を実施したところ、設計時の施工条件が工事現場と一致せず、施工スペースなどを見直す必要が生じたことに伴い、変更契約を締結します。

主な質疑

Q　樹木を伐採する前の段階で想定できなかったのか。

A　測量調査などを行い、詳細な地形や表面地盤の状態などを整理して、効率的で安全な周辺環境に配慮した計画としているが、設計時に全ての条件を反映することは難しく、過大な積算とならないよう、最低限の数量を見込んだものである。

所管事務　（仮称）吉倉・久米野土地区画整理事業の進捗状況

成田空港の更なる機能強化をはじめ、空港周辺地域への関連企業の立地等に伴う新たな人口増加に適切に対応するため、吉倉・久米野地区において、組合施行の土地区画整理事業により都市機能や住環境の整備を図ることを目的に、新たなまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。事業区域は約 45 ヘクタールを想定し、関係する多くの地権者からの賛同を得て、令和5年10月29日に土地区画整理組合設立準備会が結成されたとのことでした。また、準備会結成に伴い、市に対して土地区画整理法に基づく技術的援助請求があったことから、事業協力者の募集に向けて準備を進めているとのことでした。

安心・安全な郷部大橋の整備に向けて（令和6年3月定例会）

議案　橋梁修繕工事（郷部大橋）（第1径間他）請負契約の変更

コンクリート製の橋脚のひび割れ補修に当たり、改めてひび割れの数量を検査したところ、設計時より損傷が進行し、補修の対象となるひび割れの数量が増加したことに加えて、令和５年夏の猛暑に伴い、現場作業員の労働環境と作業効率を確保したため、防護服の増量などの安全対策費を増額します。

主な質疑

Q　具体的な変更内容は。

A　橋脚のひび割れ補修については、令和3年度に行った点検時より損傷が進行していたことから、補修の数量が増えたこと。また、作業員が着用する防護服について、当初は約 1,200 組を予定していたが、夏の猛暑により、現場作業員の労働環境と作業効率を確保するために、約 1,100 組を増量した。

修繕工事中の郷部大橋

所管事務　市道東町吉倉線におけるスマートインターチェンジ設置構想の検討状況

大学病院を核とした新たな空港周辺のまちづくりでの利便性の向上に加えて、広域道路ネットワークとの接続強化による防災機能の向上等を見込み、スマートインターチェンジの設置に向けた調査、検討を進めています。土地利用の可能な範囲が狭いこと等から、当初は高速道路への乗降箇所を2カ所に分けた配置としており、鉄道を横断するための橋梁構造が高額であることが課題でしたが、将来交通量を推計、解析した結果、成田ジャンクションとの距離が近く、成田空港や茨城方面に行く場合、安全な走行に課題があることが新たに分かったとのことでした。これらの課題を解決するため、東京方面への乗降に限定したハーフインターチェンジの検討を進めており、国が主体で整備を行う無人のスマートインターチェンジに加えて、市が主体で整備を行う有人の地域活性化インターチェンジも視野に入れ、費用対効果の検証や形状の検討を行っているとのことでした。

整備が進む市道西三里塚大清水線（令和6年6月定例会）

議案　橋梁下部工事（西三里塚大清水線）1工区請負契約の変更

現在工事を進めている市道西三里塚大清水線のうち、畑ケ田地先に新設する橋梁の橋脚を2基設置する工事において、作業ヤードの地盤を調査した結果、橋脚基礎工事のために必要な地盤強度が得られなかったため、地盤改良工と土留工を実施する必要が生じたこと等により、変更契約を締結します。

主な質疑

Q　杭打ち機械の設置場所の地盤強度が足りないとのことだが、事前に地盤調査を実施しなかったのか。

A　橋脚の基礎を設置する上で、土質調査などの地盤調査は実施している。しかし、設置場所である田んぼの盛土造成後に地盤面を調査した結果、杭打ち機械の設置に必要な地盤支持力が得られなかったため、地盤改良工事を行うものである。

Q　完成時期について、遅れはないのか。

A　整備計画では、令和9年度の完成を目標としていたが、橋梁工事が2橋残っており、今回の橋梁工事は3カ年の継続費を設定していることから、残りの2橋で6年近くかかる計算となる。今後は、完了区間の部分的な供用の開始など、整備効果を早期に発現できるよう、検討していきたい。

西三里塚大清水線の橋脚工事

所管事務　住宅耐震改修等補助制度の拡充

令和6年能登半島地震では、旧耐震基準により建てられた建物が甚大な被害を受けたことが報告されたことから、千葉県より耐震改修に係る補助制度の拡充を検討するよう通知があったとのことでした。これに伴い、耐震化の促進のため、耐震改修等に係る補助率と補助上限額の引き上げ、旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事を段階に分けて行う二段階耐震改修の補助対象化、耐震診断補助や耐震改修補助において事業者等の補助金代理受領制度を導入するとのことでした。

長寿命化に向けて補修工事を実施（令和6年9月定例会）

議案　橋梁修繕工事（大山1号橋・大山2号橋）請負契約の締結

橋梁長寿命化修繕計画に基づく点検結果により、大山１号橋は、鉄製の橋桁に腐食が見られたことから、防さび処理や塗装の塗り替えを行うとともに、ひび割れなどの補修工事を行います。また、大山2号橋は、鉄筋コンクリート製の橋桁にコンクリートの剥離や鉄筋の露出が見られることから、ひび割れなどの補修を行います。なお、工事完了は、令和9年3月26日を予定しています。

主な質疑

Q　車両の通行が多い場所だが、交通規制はどのようになるのか。

A　基本的な作業としては、橋の下部と側面に足場を組み、車両通行帯以外での作業になるため、道路上での車両の規制は行わずに、作業を進めていく。ただし、短期間ではあるが、舗装の打ち替え工事を行うため、全面通行止めによる作業がある。周辺ホテルの送迎バスなどへの影響などもあるため夜間工事とし、規制を行う際には、地元回覧や看板などによる周知を行い、利用者には、できる限り影響のないように進めていきたい。

議案　橋梁下部工事（西三里塚大清水線）2工区請負契約の変更

現在工事を進めている市道西三里塚大清水線のうち、畑ケ田地先に新設する橋梁の橋台を2基設置する工事において、賃金等の急激な変動が生じたことに伴い、受注者よりインフレスライド請求があり、資材・労務単価の見直しを行ったこと、地盤調査の結果、機械設置に必要な地盤強度が得られなかったため、地盤改良工を実施する必要が生じたことなどにより、変更契約を締結します。

主な質疑

Q　資材費や人件費は、どれくらい上昇しているのか。

A　昨年から今年にかけて、土木工事で使用する労務単価は、約6％上昇している。また、材料で使用する生コンクリートを例にすると、昨年度から約20％上昇している。